

オランウータンの移動通路に

中古ホース615本寄贈

市消防局

絶滅の危機にあるボルネオ島のオランウータンのために、中古の消防ホースでつり橋を作る計画で、市消防局は16日、ホース615本を、NPO法人「ボルネオ保全トラストジャパン」(東京都)に寄贈した。

同島では、プランテーションの開発などで自然林が分断され、オランウータンのパートナー探しなどが難しくなっていると、同法人などが応急策として、島内のマレーシア・サバ州でオランウータンが移動するつり橋



消防職員らがトラックに積んだ消防ホース。オランウータンのリハビリ器具にも役立てられる＝北区ひよどり北町3

作りを進めている。

同法人のメンバーらは同日、北区の神戸市民防災総合センターで、各消防団から寄せられたホースをトラックの荷台いっぱい積み込んだ。

ホース提供を提案した西消防団員の木村聡一さ

ん(37)＝西区岩岡町＝は「廃棄物を再利用するいい使い道。協力できてうれしい」。同法人の中西宣夫理事(49)は「過去最多の寄贈。ホースはいくらあっても足りないくらい。活動の大きな支えになる」と喜んだ。

(小林伸哉)